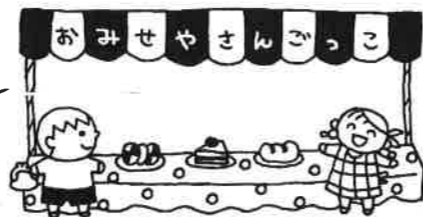


# とんぐり ごっこ

つちっこ保育園は収穫祭(運動会)が終わり、芋堀り遠足にも行って来ました。あんなに雨模様でしたが、お芋を堀っている時とお弁当を食べている時だけ雨がやんでくれていたそうです。土の中から虫が湧き出た話、つるにいっぱいお芋がついて話、自分達で収穫してきたさつま芋を手にしたのしぎにお母さんに話していました。紅葉の季節、遠出もたのしいですが近場の公園や土手でわたさんの自然にふれることが出来ます。かにごりを持って出かけてみるのもいいですね。秋をいっぱい感じてください。

## あそびにおいで～



12月14日(木)

「おみせ屋さんごっこ」

10じ～11じ

対象児 1才8ヶ月～

幼児ごみの子どもたちが手づくりしたおもちゃを売ります。どんなお店屋さんを出すか子どもたちで話し合っています。たのしみにご参加ください。

- 準備する物 買い物袋。
- 参加費 はかかりません
- 定員 5名

★参加希望の方はご連絡ください。

## 1月のよこい

○ 13日(金) もちつき 10じ～

○ 27日(金) 観劇 10じ～  
「劇団 凡の子」  
定員 5名。

○ 28日(土) つちっこレストラン  
11じ30分～  
費用 親子で500円。  
定員 5名  
対象児 1才6ヶ月～

★くわしくは次号でお知らせします。参加を希望される方はご連絡ください。



寒暖差が大きく、朝夕の冷え込みが厳しくなる季節。気をつけていたのがかぜです。昔からかぜは万病の母と、と書かれています。手洗い、うがいは基本ですが、ウイルスを寄せつけない体づくりのためにも、規則正しい生活や食事も大切です。家族の中で1人がインフルや感染性の病気にかかると、おとこの間に移っていきま。十分に気をつけましょう。

### ココが大切!

**安全におう吐物を処理しよう!**  
おう吐物には、感染症の原因となる、ウイルスが存在することも。二次感染を防ぐために、安全に処理しましょう。

必要なもの 感染予防グローブ、エプロン、マスク(それぞれ使い捨て)、新聞紙、バケツ、消毒液、ぞうきん、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム

#### 1 おう吐物をふく

感染予防グローブ、エプロン、マスクを身につける(すべて使い捨て)。おう吐物を、新聞紙でおおって、中央に集めるようにふきとり、ビニール袋につめこむ。



#### 2 消毒をして換気する

次亜塩素酸ナトリウム20mlと水1ℓを混ぜて消毒液をバケツで作る(50倍に薄める)。ぞうきんを消毒液につけて、その場をふいて、30分ほど人を室内に入れない。



#### POINT

おう吐物がついた服は、ビニールに密閉して保護者へ。洗濯のさいは塩素系漂白剤につけてから洗濯。

#### 3 ビニールに密閉する

ふき取ったぞうきん、感染予防グローブ、エプロン、マスクはすべてを二重にしたビニールに入れて処分する。保護者は手をせっけんで洗い、うがいをする。



## 下痢の対処

① 便の回数、色、においなど、便の状態を把握しておきましょう。

↓  
医師に伝えましょう

② お尻を洗った後はしおりをふき取って、からいんす・オムツをはかせましょう。

## おう吐の対処

- ① 前かがみにさせ、気道に物がつまらないようにする。
  - ② 吐いた後しばらく同じ姿勢でおやすみする。嘔吐をさすってあげるのも良いでしょう。
  - ③ おう吐後は、口を洗い着がえをする。汚れた服は盛閉する。
  - ④ 水分補給は1時間程は落ちついてからが良いでしょう。
- ★おう吐後は、横向きにさせるほど安静にする。



### ココが大切!

#### 安全に下痢を処理しよう!

下痢には、感染症の原因となる、ウイルスが存在することもあるため、二次感染を防ぐため安全に処理しましょう。

必要なもの 感染予防グローブ、エプロン、マスク、おむつシート(それぞれ使い捨て)、バケツ、塩素系消毒剤、水、タオル、ビニール袋

#### 1 下痢のおむつをかえる

下痢をしている子から、ほかの子をはなす。保育者は感染予防グローブ、エプロン、マスクをつけて、おむつシート(すべて使い捨て)の上で、子どものおむつをかえる。

POINT  
おむつやおしりふきは、二重のビニールに入れて密閉する。



#### 2 消毒し、ビニールに密閉する

塩素系消毒剤を20mlと水1ℓを混ぜて消毒液をバケツで作る(50倍に薄める)。タオルでおむつを交換した台をふく。手をせっけんで洗い、うがいをする。

POINT  
使ったものを二重のビニールに入れて処分する。

